図書館だより SAKUらいぶ

作新学院大学 *令和元年 | | 月号* 作新学院大学女子短期大学部 図書館



☆内 容☆

- ·見つけてしまった
- ·SAKUらセレクト
- ・古本市のお知らせ
- ·ラーコモイベントのお知らせ
- ·らいぶ Question
- ・ 開館カレンダー

見つけてしまった

作新学院大学 人間文化学部 教授 小林千枝子

大学教員は教育者かつ研究者である。私にとって研究は職業であると同時に好きでやってきたことでもある。好きでなければできなかったとも言える。専門は教育史。方法として現地主義(現地に赴いて現地を歩きながら史料を探す)を貫いてきた。定年退職後は、体力の衰えを予想して、身近なところを研究フィールドにしようと考えてきた。

なのに、定年退職間際になって、とんでもない研究テーマを見つけてしまった。それは、栃木県にとって、そして船田教育会にとっても身近な自由民権家・田中正造と、戦前の生活教育論争の立役者となった留岡清男との間に思想的連続性があるようだという仮説の発見である。両者をつなぐ役割を果たしたのが、正造のそばにいて正造から多くを学んだ黒澤酉蔵である。酉蔵は茨城県出身だが、正造の教えを実践するべく北海道に行き、酪農義塾をつくった。現在の酪農学園大学の出発点に位置づくものである。留岡は、父の留岡幸助が北海道に創設した非行少年の更生施設「家庭学校」を支えるべく北海道にいたことがあり、酉蔵の酪農義塾について調査している。留岡の強烈な生活綴方批判と戦後の生活教育構想の原点が、この黒澤酉蔵、ひいては田中正造にあるように思われるのである。

こんなこと、誰も研究していない。私が研究しなければ、埋もれたままになってしまうかもしれない。そう思うと、せめて、道をつくることだけは、やらねばならないかと考える。

私は定年退職後の新しい生活を思い描いており、できれば避けたい。しかし、研究者としては、戦後日本の教育構想を考えるうえでも重要な、ぞくぞくするような研究テーマである。

SAKU SELLON

図書館の本を読んでみよう

むらさきのスカートの女

今村夏子 著 913.6/lm

近所に「むらさきのスカートの女」と呼ばれる変人が住んでいて、大人にも子供にも超有名だ。「わたし」は気になってしかたがない。友達になりたい。一緒に勤められないだろうか。

そして「わたし」はありとあらゆる手段を使い「むらさきのスカートの女」を自分の勤め先に就職するように仕向ける……

果たして二人が同僚になると、読者は「むらさきのスカートの女」がどんな滑稽な事件を起こしてくれるだろうとわくわく期待します。しかし、あれ?「むらさきのスカートの女」って意外と普通じゃん?けっこうまともだよね。という気持ちになり、「むらさきのスカートの女」よりも「わたし」の方に違和感を覚えます。ざわざわとした胸騒ぎを抱きながら読み進めるうちに物語は徐々にスピードを上げ、気づいた時には景色が一変します。

こういう人いるよねー。うちの近所にもいるわー。と面白がって読んでいると、最後に背筋がぞわっとしますよ。

「むらさきのスカートの女」は第 161 回芥川賞を受賞しました。楽し い本は図書館にあります。どうぞ図書館へおいでください。



ラーニングコモンス・イベントのお知らせ

手作りカードをつくろう!

クリスマスカードやバースディカードを手作りしてみましょう。 大切なあの人にプレゼントしませんか?









ラーニングコモンズ・イベント「手作りカードをつくろう!」

- · 2019年11月13日(水)
- ・図書館内 グループ学習室 ラーコモイベント・エリア
- ・9:30 から 14:30 まで開催します。お好きな時間においでください。
- ・材料や用具は図書館で用意します。
- ・お申し込みは図書館まで

513 Question

秋のいろどり いわさきちひろ絵本美術館 編

726.5/Iw/6 より出題

冬が近づくと、草花は枯れ、葉は朽ちて(①)は眠りに入ります。 白と灰の色のない世界に入る前に、残っていた絵の具を(②)尽く すかのように、自然は鮮やかな色彩にあふれる季節を(③)してい ます。

図書館の本から出題しています。答えはカウンターにある解答用紙に記入して ください。全問正解で1ポイントです。今年度中に5ポイント集めた方には、 記念品を贈呈します。

開館カレンダー



2019年10月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2019年11月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

午前9:00~午後6:00

午前9:00~午後1:30

休館日

~~~~~~ 発行 ・編集 ~~~~~~

作新学院大学·作新学院大学女子短期大学部 図書館

Tel 028-670-3651·3652 Fax 028-670-3619

E-mail tosyo@sakushin-u.ac.jp

URL http://www.sakushin-u.ac.jp/library/

